

## 第1次実施計画事業(案)に対する市民意見( 10/28~1/5 受付)

No.	分野	区分	意見の概要
1	9_計画全体	計画書全体	<p>計画事業(案)の概要 (1)100年先に引き継ぐ、持続可能なまちづくりについて、2021年10月22日に閣議決定された第6次エネルギー基本計画では、「2050年カーボンニュートラル、また、野心的な2030年度の温室効果ガス排出削減目標の実現に向けては、徹底した省エネルギーを進める」と記載されていることから、文章内に「省エネルギーの一層の推進」を追記し、以下のとおりとしたい。</p> <p>2050年カーボンニュートラル宣言を踏まえ、省エネルギーの一層の推進、民間投資や～</p>
2	9_計画全体	計画書全体	<p>総じて、重点的に取り組む事業を「具体的」にとある割には、「基本計画」の内容をそのまま「抽象的」に焼き直しているプランが「ほとんど」のように感じる。「具体的に」とは、時期は3年以上と考えるにしても、後は5W1Hの要素を極力盛り込むものだと考える。(例えば、公園整備であれば、ただ「推進する」ではなく「10か所」とか「どの地域を」等の要素を盛り込む)</p>
3	9_計画全体	計画書全体	<p>使われている文言が「行います」「実施します」「助成します」等ならまだしも、「整備します」「促進します」「図ります」「強化する」等になってくると抽象度が増すので、使用しない方がいいのではないかと。(特に分野3福祉系に顕著)</p>
4	9_計画全体	計画書全体	<p>施策3-1-1「未来都市ちばプラン次期計画の策定」が重点的に取り組む「事業」であるとは少し理解しがたい。具体的な事業とは、例えば7-4-1のNo.1「千葉中央コミュニティセンターの再整備」やNo.3「花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化の推進」のようなものを指すのではないかと。</p>
5	1_環境・自然	1-1-1 地球温暖化対策の推進	<p>2050年カーボンニュートラル達成のためとの記述は、全項目に共通する目的なので個別の事業に記載するのは不自然ではないかと。</p>
6	1_環境・自然	1-1-1 地球温暖化対策の推進	<p>脱炭素社会の実現に向けては、まずは徹底した省エネルギーを進めることが重要と考え、第6次エネルギー基本計画でもその旨記載があることから、以下のとおり新たに事業追加を提案したい。</p> <p>事業名 : 省エネルギーの一層の推進 事業概要: 省エネ家電の導入及び高効率給湯器の導入促進</p>
7	1_環境・自然	1-2-1 緑と水辺の活用と充実	<p>「身近な公園のエリアリノベーションと新たな運営方式に向けた検討」については、泉谷公園では、緑公園緑地事務所の理解でパークマネジメント協定を締結し、いろいろな催し物を行っているが、利用者増加により、想定していなかった利用上の問題が生じており、これまでの千葉市内の公園の考え方では、公園の運営ができなくなっている。</p> <p>おゆみ野なかよし公園は、地域の住民に活用され、運営も上手くいっている一方で、隣接する市営住宅の公園は利用者が少ないため、建設時に施設を省いてもよかったのではないかと。</p>
8	2_安全・安心	2-2-1 災害対応体制の強化	<p>令和元年の台風での被害で空調電源が途絶えたことにより、老人施設において熱中症が原因で高齢者が亡くなった事例があるため、自立・分散型エネルギーの導入は重要であると考え。</p> <p>また、千葉市国土強靱化地域計画にも自立・分散型エネルギーの導入について記載があることから、以下のとおり新たに事業追加を提案したい。</p> <p>事業名 : 自立・分散型エネルギーの導入 事業概要: 災害時における電力供給遮断に備え、自立・分散型エネルギーを整備するとともに防災拠点施設等に必要不可欠な電力の確保を図る。</p>
9	2_安全・安心	2-2-1 災害対応体制の強化	<p>「災害情報の発信強化」については、スマートフォンにradiko(スマートフォンアプリ)またはNHK FMを入れておくと、ラジオより良く聞こえるので導入すべきである。</p>
10	2_安全・安心	2-2-2 市民の防災意識と地域防災力の向上	<p>「防災備蓄品の管理・更新」については、学校避難所の備蓄品の点検は、避難所運営委員会が実施するものと認識しているが、学校の責任として、運営委員会が実施していない地域もあるので、明確に文書に記載すべきである。</p> <p>また、おゆみ野の通学路は、長時間雨が降った場合、帰宅困難になり学校に泊まらざるを得ないこともあるため、このような場合に備蓄品を使うことも考えられる。</p>

No.	分野	区分	意見の概要
11	2_安全・安心	2-2-2 市民の防災意識と地域防災力の向上	「地域防災力の推進」については、避難所運営委員会を開催しても地域の情報をよく知らないのが現状である。講習会や研修会ではなく、地域のことを熟知している「ワーキング・グループ」で実施するのが避難所運営委員会の具体的活動につながると考えられる。
12	3_健康・福祉	3-1-1 健康づくりの促進	「フレイル改善」及び「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」については、シニアリーダー体操サークルやいきいきプラザでの簡易型のフレイル・テストを行うことが必要であり、健康寿命延伸プログラムに導入すべきである。フレイルの前段階で必要なことは、筋肉量の維持・関節の可動範囲の維持、アプリを活用した多品種食事でタンパク質の摂取量の維持であり、縦割りで管理栄養士が教えるのではなく、決まったことを実施するという考えに基づき実行することが必要である。
13	3_健康・福祉	3-1-1 健康づくりの促進	「次期食育計画の策定」、「健康づくりの取組み支援」については、健康診査の血液検査の結果を持ち寄る「食生活の見直し講座」を保健福祉センターで実施してはどうか。血液検査等の結果に基づきグループ分けした上で、具体的な対応について説明し、何か月後にまた実施するというように、何回か実施しないと定着しないと考える。
14	3_健康・福祉	3-1-1 健康づくりの促進	<p>千葉県受動喫煙の防止に関する条例の目的は「防止」となっているが、計画事業(案)は「低減」となっており、健康増進策としては後退の表現になっている。条例の目的と計画事業の内容に乖離があると市民に混乱をもたらす可能性があるため、受動喫煙の被害については、防止が適切な表現ではないかと考える。</p> <p>喫煙者自体は能動喫煙であり、受動喫煙とは本来関係はないと考える。仮に喫煙者が複数人いるのであれば受動喫煙もあり得るが、一人の場合は今回の事業概要から外れてしまうので適切ではなく、喫煙については、「健康被害をなくすために禁煙を支援する」との表記が適切と考え、以下のとおりとしたい。なお、計画事業について、条例の目的と乖離がないように努めていただきたい。</p> <p>事業名 : 受動喫煙の防止及び禁煙の支援  事業概要: 受動喫煙による健康被害を防止するため、公共の場所や職場等において敷地内禁煙による受動喫煙対策の推進を行うとともに、喫煙による健康被害をなくすため、禁煙に挑戦する市民に対する支援を行います。</p> <p>さらに、事業概要の「公共の場所」や「職場等」について、定義が曖昧で非常にわかりにくい。何を参照すれば、今回の「公共の場所」や「職場等」の内容が分かるのかを示すと、実施計画を進める上で共通の認識を持ちやすくなると考える。</p>
15	3_健康・福祉	3-1-2 医療提供体制の充実	「新病院の整備」に関して、重症の場合、病院間の連携があると聞いているが、安心感が欲しい。
16	3_健康・福祉	3-2-2 地域で安心して暮らせる環境の整備	「在宅医療・介護連携の推進」については、高齢者の介護予防サークルの中には、訪問看護などの在宅医療の制度を理解できない方もいるので、終末医療に関する市民への普及・啓発及び意思決定の支援をお願いしたい。
17	3_健康・福祉	3-4-2 包括的な支援体制の構築	福祉関連でいえば、重層的支援体制のワードは施策3-4-2「包括的な支援体制の構築」で見られるが、「構築する」とは具体的に何をどのようにするのか疑問である。例えば、まちづくりの観点からも、新しく「地域コーディネーター」といったポジションを新設してもおもしろいのではないかと。
18	4_子ども・教育	4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る	子育て中の市民にとっては、千葉市の歴史よりも、子供への投資の方が関心が高いと考えられる。施策を一つずつ積み上げることで、隣接する自治体への市民の流出が抑制され、千葉市の人口維持につながると考える。
19	4_子ども・教育	4-2-1 未来につながる学びの充実	「市立高等学校の特色のある学校づくりの推進」については、子供の高校選びの選択肢を広げるため、市立高校の偏差値をもう少し上げて欲しい。データサイエンスが重視されているが、周辺大学と連携し、文系でもそのような基礎的知識を持たせるなど、周辺自治体の市立高校と異なる魅力を持たせて欲しい。
20	4_子ども・教育	4-2-2 学びを支える教育環境の充実	「教職員の働き方改革」について、避難所関連の備蓄品の管理業務については、避難所運営委員が行うよう明文化し、教職員の負担を極力軽減すべきである。

No.	分野	区分	意見の概要
21	4_子ども・教育	4-2-4 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実	「子どもの居場所づくり」については、おゆみ野ふれあい館では、貸出しができる児童図書館、遊びの場、自習の場があるが、児童の利用が進んでいない。関係する各課の連携により、施設の有効活用を検討して欲しい。
22	5_地域社会	5-1-1 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進	おゆみ野は、近所に子ども病院、リハビリテーションセンター、下総精神医療センターが立地しており、住民に占める医療従事者や障害者の割合が高く、多様性のあるまちである。平均的な住民が多く、買い物ができる場所も分散しており住みやすいと感じている。最近では発達障害の閉じこもりがちだった人も、いろいろな催し物に参加していると聞いているが、広報誌による一層の援助が必要である。
23	5_地域社会	5-1-1 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進	「固定的な性別役割分担意識の解消」及び「女性活躍の推進」については、おゆみ野では、女性が男性と対等に意見を出し、物事の決定に参加できているとはいえないため、市民の行動変容を促進する工夫が必要である。多様性の社会では、単純な仕事をしてきた男性よりも女性の柔軟な対応力が必要なので、自由に話し合える習慣をつけたいと思うが、自由に使える場所が少ない。
24	5_地域社会	5-1-2 多文化共生社会の実現	施策5-1-2「多文化共生社会の実現」に関して、具体的に取り組む施策が「推進します」「図ります」に留まっており、さらに内容も既存事業のままである。外国人率が日本平均を超える自治体としては物足りなさを感じる。
25	5_地域社会	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	「市民参加による政策形成」については、賛成。ワークショップの延長から始め、将来性を見通せる人を育成できると良い。 「多様な主体の連携による市民主体のまちづくり推進」については、現状の団塊世代のリーダーに多くの事を望むのは難しいため、年齢ではなく、個人の持ち合わせている健康年齢と経験値・応用力のある人を見出すことを検討して欲しい。
26	5_地域社会	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	「町内自治会のデジタル化推進」については、デジタルリテラシーが活動の基本となるが、ワードは使えてもエクセルやネットワークを組むことができない者が多い。
27	5_地域社会	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	地域運営委員会については、地域運営委員会の設置及び活動支援が最大の課題であり、この問題を解消できれば地域の活動を積み上げることができると考えられるが、実施にあたっては地域の課題に対応するリスクキリングが必要である。おゆみ野では、過去にいくつかの団体ができたが、成果があがっておらず、対策として、地域の方向性を説明でき、会のとりまとめを行うことができるファシリテーターの派遣が必要となる。柏市のように退職した市のベテラン職員を市民協働支援員や地域づくりコーディネーターとして派遣するのも具体的な問題解決につながると思う。
28	5_地域社会	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	「集会所建設等への支援」については、小規模な自治会であれば、集会所建設等への支援で足りるが、出席者が100人近くなると集会所での対応が難しいため、高齢者施設を使わせてもらえると地区の顔合わせも出来て効果がある。
29	5_地域社会	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	「区役所を中心とした地域支援プラットフォーム構築」については、地域の会合は、時代の要請と乖離していることが多いため、年度末に一年を振り返った反省会を行い、活動改善の具体策を出し、実行責任者を決めて実行するPDCAの提出を義務付ければ、進め方・考え方の改善につながると思う。
30	5_地域社会	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	「市民との対話の充実」については、市長と語ろう会及びティーミーティングは、自分と異なる意見を持つ人の主張や考え方を知る良い機会となるので、継続して欲しい。
31	5_地域社会	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	「ちばし地域づくり大学校の運営」の目標は、千葉市の現状を知り、リスクキリングや行動変容により、現役世代のスキルが伸び、地域ボランティア活動のリーダーやスタッフとして活躍することにより、健康寿命の延伸につながることにありということを知り、周知すべきである。

No.	分野	区分	意見の概要
32	5_地域社会	5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進	「まちづくり活動団体への支援」については、活動の初期に、活動に係る経費を支援されるのは大変助かるが、実情としてボランティアのリーダー等が経費を負担していることが多い。
33	5_地域社会	5-2-2 生涯学習を通じた地域活動の推進	「公民館の機能拡充」について、公民館を地域課題の解決の拠点として活用することは賛成である。公民館を使ったスキルアップは将来の生活の安定にもつながるので検討して欲しい。今後の希望として、WiFiの接続に制約があるため、複数の部屋で情報通信機器の利用を可能にするなど、利用環境を改善して欲しい。
34	6_文化芸術・スポーツ	6-1-2 文化財の保全・活用	「特別史跡加曽利貝塚の魅力向上」については、学術的には加曽利貝塚とオオガハスは別物だが、年代的に近接する時代と捉え、加曽利貝塚とオオガハスを合わせてプロモーションしてはどうか。今の不透明な時代は、予算を抑制し、細く長くプロモーションを継続する方が良い。
35	7_都市・交通	7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進	「人口減少に向けた取組みの推進」については、人口減少を抑制するためには、充実した都市機能が生み出す利便性の高さ(=時間のゆとり)を目指す必要がある。移住・定住に関するポータルサイトについては、千葉市は現在の人流、将来の人口動態を考慮すると、値打ちがある取組であり、広報力を強化する必要がある。
36	7_都市・交通	7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進	「都市計画マスタープラン等の見直し」については、鎌取駅周辺は、居住誘導区域であり、自然発生的に調整区域の宅地化が進む一方で、誉田町側はアパートが高齢施設に建替えられるなど、町はアメーバーのように動いており、都市計画マスタープランの見直しは必要なテーマである。
37	7_都市・交通	7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進	「良好な都市景観の形成」については、景観のカラーリングを設定したが、不景気のためゴツゴツとした形状や、ブラックの住宅が増えすぎて困る。建売レベルで色彩感覚を求めるのは難しいが緑の街も台無しになる。
38	7_都市・交通	7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進	「街路樹空間の適正化」については、街路樹や公園の剪定方法は変わってきていることから、江戸川区のように街路樹の剪定を外注業者に受け持たせ、経費と綺麗さのコンクールを行っているのは良い知恵である。
39	7_都市・交通	7-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの形成	「支え合い交通の実現」については、南房総市の丸山地区の買い物・病院通いは地域住民の送迎自動車で成り立っていると聞いている。過疎のエリアでは、道路事情が良く無いため自動運転モビリティは成立せず、白タク類似の乗り合いを認可するのが良いのではないかと。
40	7_都市・交通	7-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの形成	成田エクスプレスのルートを活用し、総武快速線の埼京線への乗り入れを検討して欲しい。
41	7_都市・交通	7-3-1 スマートシティの推進	「デジタルデバйд対策」については、高齢者サークルでデジタルデバйд対策をやってみようと思ったが難しかったことがあり、デジタルリテラシーがある層の底上げを図る方が効果があると考え。ある程度、リテラシーがある人のレベルを上げるには、市のオープンデータを加工する作業を行うのが良いと思う。
42	7_都市・交通	7-4-1 住環境・生活基盤の充実	「分譲マンションの建替え等の支援」については、管理の適正化の習慣に早い時期から着手しないと、大規模修繕費用が積み立てられず老朽化し、最後は取り壊し費用も残らなくなる。2022年4月にスタートした「マンション管理計画認定制度」と「マンション管理適正評価制度」を推進することで、適正管理を意識付け、地理的条件の良いマンションの資産価値を持続させる必要がある。マンション管理の適正化にあたっては、市政だよりで相談を募集するのではなく、オンライン講座とQ&Aで敷居を低くし、今から始めないと基礎知識が不足することになる。
43	7_都市・交通	7-4-1 住環境・生活基盤の充実	「市営住宅の改善」、「市営住宅の再整備」については、施工内容・質のばらつきの少ないパネル式市営住宅を増やし、防水、外壁塗装の基準を見直し、長寿命化を図ってはどうか。

No.	分野	区分	意見の概要
44	7_都市・交通	7-4-2 持続可能な上下水道 事業の推進	「水道管路の整備」については、今後、何かを我慢しなければ電気、上下水道、ガスなどのサービスが手に入らない時代が来ることが想定されるため、居住誘導区域外へのインフラ投資は慎重に行うべきである。
45	8_地域経済	8-3-1 農業の成長産業化	「食のブランド「千」の推進」については、事業者とスーパーの地域密着を図り「千ブランド」を高める必要がある。